

(様式 4)

# 水辺の里公園のびのびぷろじえくと ～集まれ！自然大好きわくわく探検隊～

## 1 事業の概要

・稲美町は、ため池や水路が多く緑が広がる自然豊かな農業中心の町である。町内には大小さまざまな形態の公園があるが、子ども達に自然体験や環境学習を提供できる場所や団体が限られている。

私ども NPO 法人環境ユーステックは、唯一この課題を前向きに改善できる団体として稲美町の指定管理を受け、「いなみ野水辺の里公園」を拠点としてさまざまなイベントやセミナーを行って、自然の大切さ、生命の尊さ、人々の絆などを大切にして、地域が繋がっていく活動を行っている。

・今年度は、近隣小学校の環境学習の受け入れ支援、ホタル隊も卵から飛翔までの一連飼育に拡大、セミナーもセミ羽化観察や冬の虫さがしを増やす等計画しているが、当 NPO 法人の 10 周年記念に当たることからイベントは太めにしたいと考えている。

青年隊には、初回会合にて事業計画を説明し参画を要請する。

のびのびぷろじえくとイベント、7 月 23 日の「そうめん流しとワイワイ夏祭り」、9 月 7 日「バッタクイズ&ばったとり大会」、8 月～11 月「我が家のじゃが芋畑」家族単位での食育体験を担ってもらう。また、ぷろじえくと以外のホタル飼育や観察、セミの羽化や冬虫観察などにもかかわることができる仕組みを作っている。

「そうめん流しとワイワイ夏祭り」は、参加者が 400 人規模の一番大きなイベントで、この企画から物品の調達、事前準備、当日の役割分担を受け持つ。

当日の主なイベント内容は、そうめん流し用人工竹 25m×2 レーンを設置、そうめん 400 人分の湯がき、そうめん流し、昔遊び、水遊び、巨大迷路などの運営、ステージ上の催し、イベントの司会進行などを行ってほしい。

「バッタクイズ&ばったとり大会」は、子どもたちとその家族約 100 人規模でトノサマバッタやショウリョウバッタをとり、その大きさを競う大会を行う。これも、子どもたちが盛り上がる企画を考えていただきたい。当日の昆虫クイズやバッタの計測、司会進行などを行ってほしい。

「我が家のじゃが芋畑」は 8 月に植え付け、10 月に土寄せ、11 月 28 日に収穫し、みんなで食べる自然体験のお手伝いで、ぜひ楽しい農業体験をしてほしい。

いずれも大勢の子どもたちとその家族が参加するイベント・セミナーで、生命や食や自然を愛する心を育み、参加者同士のつながりを深め、多くの方に公園家族になってもらえるようなイベントになれば大変うれしい。これらに大きく力を貸してほしい。



## 2 事業予定

5 月 23 日 キックオフと第 1 回会議

6 月初旬・下旬 第 2 回会議・第 3 回会議

7 月 第 1 回全県交流会・打ち合わせ

- 7月22・23日 イベント「そうめん流しとワイワイ夏祭り」準備・当日
- 8月22日 「我が家のじゃが芋畑」・イベントのまとめ反省会、打ち合わせ
- 9月7日 自然体験セミナー「バツタクイズ&ばったとり大会」
- 10月3日 「我が家のじゃが芋畑」土寄せ、追肥
- 11月28日 「我が家のじゃが芋畑」芋ほり・食体験・第5回会議
- 12月6日 地域交流「収穫祭・一万本の大根まつり」自然体験コーナー出店  
第2回全県交流会
- 1月23日 活動報告会準備・打ち合わせ
- 2月 活動報告会準備
- 3月 活動報告会

### 3 ふるさとづくり青年隊に望むこと

稲美町は、電車も高速道路もない不便といわれているところです。しかし、緑がいっぱいで、風景が美しく、子育てには最適なところだと思います。こんな稲美町の魅力を大勢の人に発信していただきたいと思っています。

今回は、自然大好きわくわく冒険隊となって、ドキドキわくわくするようなアイデアをたくさん出してもらって、地元の大学生とボランティアの人と一緒に作り上げてほしいです。

そして水辺の里公園をもっと応援したくなったら、ぜひボランティア登録をしていただいて、私たちと一緒に活動してください。

### 4 連絡先

- (1) 団体名：NPO 法人環境ユースイングてんま（いなみ野水辺の里公園指定管理者）
- (2) 所在地：加古郡稲美町岡 1840-1
- (3) HP、SNS等：<https://ameblo.jp/mizubenosato>